

住まいと環境 東北フォーラム WEBシンポジウム

大震災から10年目を迎えて復興はどこまで進んだか ～現地からの報告～

東日本大震災から10年目の節目を迎えようとしています。仮設住宅はほぼ解消され、嵩上げ工事も完了し、新たな生活空間が整備されて町の賑わいも戻りつつあります。勿論、地域によって状況は大きく異なります。一方では、福島の帰還困難地区では、震災後の状態がそのまま残っており、今後の見通しが立たないところもあります。

このような中で、東北三県ではどこまで復興が進んだのか、特に、住居やインフラの整備の達成度や今後の課題は何か等、全体的な状況について情報を共有するとともに、個別の復興事例について紹介していただき、建築関係者として、将来再び発生するであろう大地震に対する備えも含めて、これからどのような貢献ができるかについて考える機会とします。

写真：南三陸町震災復興記念公園に架かる中橋

日にち：2021年2月5日（金）
時間：13:30～16:30
対象：建築関係者、一般の方

ZOOMウェビナー
参加費無料

シンポジウム事前登録フォーム 登録締め切り2021年2月3日（水）

https://zoom.us/webinar/register/WN_pxfkofRGsR-qCjPiSx0ywCg

- ※申込条件として、ZOOMに参加出来るインターネット環境（Wi-Fi・PC・タブレット等）にあることをお勧めします。
- ※ZOOMウェビナー登録システムを利用しています。登録後参加用のURLが自動的に送信されます。
- ※当日はご登録のお名前でごログインをお願いいたします。
- ※配布資料は開催日前日までに取得方法を登録メールアドレスへご連絡します。連絡がない方は登録の行き違いの可能性がありますので、お手数ですが事務局までご連絡ください。
- ※フォームがご利用になれない方は、件名：「2/5震災シンポ申し込み」とし、①参加者氏名、②会社名、③メールアドレス（シンポURLをお送りします）、④住所、⑤電話番号を明記の上、事務局 htoenv@rio.odn.ne.jp へメールでお申込みください。

主催：住まいと環境 東北フォーラム

共催：日本建築学会東北支部

後援：宮城県建築士事務所協会、空気調和・衛生工学会東北支部、
建築設備技術者協会東北支部、宮城県空調衛生工事業協会

プログラム(予定)

司会 石川 善美

住まいと環境 東北フォーラム副理事長、東北工業大学名誉教授

開会・趣旨説明 13:30-13:40

吉野 博 住まいと環境 東北フォーラム理事長、東北大学名誉教授

第1部 震災後の復興状況と今後の展開

(特に住居やインフラの整備について)

(1) 岩手県の場合 13:40-14:00

小野寺 哲志(岩手県 県土整備部 建築住宅課 住宅担当)

(2) 宮城県の場合 14:00-14:20

小出 昇(宮城県 土木部住宅課 住宅課長)

(3) 福島県の場合 14:20-14:40

大竹 健義(福島県 土木部建築住宅課長)

質疑応答 14:40-14:50

休憩 14:50-15:00

第2部 各地の復興事例

(1) 陸前高田市における住まいの再建推進の取り組み 15:00-15:20

鈴木 大隆(北海道立総合研究機構 理事)

(2) 石巻市北上町での住民主体の震災復興の試み 15:20-15:40

手島 浩之(有限会社 都市建築設計集団/UAPP 代表)

(3) 福島県大熊町における復興への取り組み 15:40-16:00

橋本 浩江(福島県大熊町生活支援課長)

質疑応答 16:00-16:25

閉会の挨拶 16:25-16:30

問い合わせ先

住まいと環境 東北フォーラム 事務局

宮城県仙台市青葉区春日町3-8春日町ファインビル4F

TEL:022-221-9042 FAX:022-221-9243

E-mail:htoenv@rio.odn.ne.jp